

# 「アイヌについて学ぼう」学習資料リスト

## 参考資料：中学・高校・一般


北海道学校図書館協会 野村邦重/編(2019.2)作成 最終更新(2025.2)

対象	書誌情報	表紙画像	内容(目次):トータル-honサイト他より転載
0	<p>アイヌ文化紹介小冊子 全9巻及び「総集編」</p> <p><b>ポン カンピソシ</b></p> <p>北海道博物館アイヌ民族文化研究センター</p> <p>非売品</p>		<p>アイヌ文化をテーマごとにわかりやすく紹介したもの。全9巻及び「総集編」を発行。紙の冊子のほか、北海道博物館のウェブサイトからPDF版をダウンロードできます。(「総集編」はPDF版のみ)</p> <p><a href="https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/study/ainu-culture/">https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/study/ainu-culture/</a></p> <p>1.はなす イタク 2.着る イミ 3.食べる イバ 4.住まい チセ 5.祈る イノミ</p> <p>6.口頭文芸 ウエネウサラ 7.芸能 8.民具 9.地名</p> <p>・学校での授業でのご利用をはじめ、学習を目的として入手をご希望される方には、お送りできます。 ご希望の際は、北海道博物館アイヌ民族文化研究センターまでお問い合わせください。</p> <p>・公共図書館で閲覧可能です。事前にお問い合わせください。</p>
1	<p><b>アイヌ神謡集</b></p> <p>知里 幸恵/編訳 中川 裕/補訂</p> <p>岩波書店 2023.8 792円(岩波文庫)</p>		<p>●北海道教職員組合「アイヌ民族に関する絵本・コミック紹介コーナー」すいせん</p> <p>アイヌの民たちが語り合い、口伝えに語り継いできた美しい言葉と物語。伝承を後世に残し、アイヌを知る多くの人々に読んでほしい。進みゆく世に抗し、熱き思いと希望を胸に知里幸恵(一九〇三-二二)が綴り遺した珠玉のカムイユカラ。新たな解説を付す補訂新版。</p> <p>「銀の滴降る降るまわりに、金の滴降る降るまわりに」一詩才を惜しまれながらわずか一九歳で世を去った知里幸恵。このアイヌの一少女が、アイヌ民族のあいだで口伝えに語り継がれてきたユカラの中から神謡三篇を選び、ローマ字で音を起し、それに平易で洗練された日本語訳を付して編んだのが本書である。</p> <p>民族の歌を占領者の言葉で表さなければならぬという悲劇を越えて、その言葉の何と美しいことか。</p> <p>978-4-00-320809-0</p>
2	<p>知里 幸恵 <b>アイヌ神謡集</b> 誇り高く、生きる。</p> <p>中川 裕/著 日本放送協会/編 NHK出版/編</p> <p>NHK出版 2022.8 600円(NHKテキスト)</p>		<p>自然と共生する人びとが伝承してきた神の物語アイヌが長年語り継いできた物語を、アイヌ自身がアイヌ語で書いた初めての本。編纂したアイヌの少女・知里幸恵は完成直前に夭折してしまうが、美しい日本語対訳とともに収録された13編の神謡は、アイヌの豊かな世界観を私たちに伝えてくれる。アイヌはいかに自然と共生してきたのか? 文字を持たない人々の暮らしとは? あらゆる存在に靈魂を見出し、カムイ(神)と支え合って生きていく物語を通して、アイヌの文化や味わいつくす最高のガイド! 大人気漫画『ゴールデンカムイ』の監修者がやさしく案内する。</p> <p>978-4-14-223143-0</p>
3	<p><b>『アイヌ神謡集』を読む</b></p> <p>知里 幸恵/著訳 北道 邦彦/注解</p> <p>北海道出版企画センター(北方新書) 2017.10 1,320円</p>		<p>kamuyuyukar(カムイユカラ)</p> <p>神謡は、文字どおり神の謡ですが、その語りには種々の物語の展開があり、本集の謡を分類すると、登場する動物の神は人間を守る神として語られる[守護神物語]、人間を守るべき動物の神が人間に悪さをし、人間の英雄オキキリムイに懲らしめられる物語[オキクルミ物語]、[その他の物語]の大きく三つの類型に分けることができます。</p> <p>978-4-8328-1704-3</p>
4	<p><b>注解 アイヌ神謡集</b></p> <p>知里 幸恵/著訳 北道 邦彦/編注</p> <p>北海道出版企画センター 2003.10 3,300円</p>		<p>本書は、ローマ字とカタカナ表記のアイヌ語本文と訳文を併記し、それぞれに詳細な注解がほどこされている。読者にアイヌ語で読んで貰いたいとの願いから生まれた。</p> <p>第一部 本文編 梟の神の自ら歌った謡「銀の滴降る降るまわりに」 狐、狐、兎、谷地の魔神、小狼の神、梟の神、海の神、蛙、小オキキリムイ、小オキキリムイ「此の砂赤い赤い」、獺、沼貝</p> <p>第二部 解説編 知里幸恵略年譜、『アイヌ神謡集』の成立をめぐるアイヌの叙事詩とはどんな芸術か、神謡の特質、名取武光著「噴火湾アイヌの捕鯨」 佐藤三次郎著「北海道幌別漁村生活誌」、初めてアイヌ語に接する人のためのアイヌ語ガイド</p> <p>付 編 旧室蘭駅舎写真、旧室蘭駅舎について、女学生生活を伝える幸恵の手紙</p> <p>978-4-8328-0310-7</p>
5	<p><b>ピリカ チカツポ</b> 美しい鳥</p> <p>知里幸恵と『アイヌ神謡集』</p> <p>石村 博子/著</p> <p>岩波書店 2022.4 1,980円</p>		<p>「銀の滴降る降るまわりに金の滴降る降るまわりに」。一〇〇年前、ただ一冊の本『アイヌ神謡集』を残し、一九九年余の短い生涯を閉じたアイヌの少女がいた。一度は忘れ去られた少女—知里幸恵はなぜ復活し、アイヌの魂の象徴的存在となったのか。ノートや日記など多数の資料や新資料をもとに、「生の限りを書かねばならぬ」との誓いに殉じたその生涯、そして世紀を超えて甦り続けるアイヌの文化をめぐる格闘を描く。</p> <p>第1章 アイヌに生まれ、アイヌ語のなかに生きた少女 第2章 成長する幸恵 三冊のノート、そして恋愛 第3章 東京でただ独りのアイヌの娘として 死までの一二九日間 第4章 『アイヌ神謡集』を探索する 第5章 復活し、成長を遂げる幸恵 最後に—終わらない物語と、終わらせなければならない物語</p> <p>978-4-00-024546-3</p>

6	参考資料 中学 高校 一般	<h3>地図でみるアイヌの歴史</h3> <p>縄文から現代までの1万年史</p> <p>平山裕人/著</p> <p>明石書店 2018</p> <p>4,180円 注文不可</p>		<p>第1章 アイヌ文化の基層にあるもの 第2章 北日本型の新石器文化の変遷 第3章 原アイヌ文化期 第4章 アイヌ文化前期 第5章 アイヌ文化後期 第6章 近現代のアイヌ史</p> <p>978-4-7503-4756-1</p>
7	参考資料 中学 高校 一般	<h3>カムイ・ホブニレ</h3> <p>大川 勝/著</p> <p>自費出版 2025.2</p> <p>非売品</p>		<p>アイヌ民族のクマ送りの儀礼「カムイ・ホブニレ」を解説する本。伝統を守るべく、自身の経験や貴重な資料等を3年かけてまとめた入魂の労作。(北海道新聞 2025/02/21 コラム「ひと」より)</p> <p>カムイホブニレ クマの霊を送る儀礼の一つ。狩猟した成獣を対象として「神を起こし、帰す儀礼」を指す。儀礼を通じて人間界が楽しい場所であるとカムイ(神)に知ってもらい、再びカムイが人間界を訪れることを期待する。子グマの霊を送る「イオマンテ」は別の儀礼。</p> <p>アイヌ民族文化財団(札幌)の助成を得て約100部印刷した。日高管内の7町などに寄贈し、北海道立図書館などで閲覧可能。市販はしていない。本についての問い合わせは北海道アイヌ協会、電話011・221・0462へ。</p>
8	参考資料 中学 高校 一般	<p>日本の食生活全集 48</p> <h3>聞き書 アイヌの食事</h3> <p>萩中美枝 他/著</p> <p>農山漁村文化協会 1992</p> <p>3,850円</p>		<p>●1993年 北海道指定図書に選定</p> <p>すべてのものに神宿る。古老たちが語った清廉な食文化の全貌。静内地方の食—織田ステノさんの暮らしと食べもの、木の実一つ、草の葉一枚にいたるまで神々に感謝してつくる伝統の味</p> <p>浦河地方の食—浦川タレさんの暮らしと食べもの、鮭・ますを恵む川面に焼干しづくりの香ばしい煙が流れる</p> <p>アイヌのいろいろな料理と加工—まつりを中心に 食素材の確保と加工・貯蔵—植物を中心に ウエベケレーアイヌの口承文芸 食べものについての物語</p> <p>978-4-540-92004-2</p>
9	参考資料 中学 高校 一般	<h3>アイヌ文化で読み解く「ゴールデンカムイ」</h3> <p>中川 裕/著</p> <p>集英社(集英社新書) 2019.3</p> <p>900円+税</p>		<p>アイヌ語監修者による唯一の公式解説本にして、アイヌ文化入門に最高の一冊！</p> <p>第1章 カムイとアイヌ カムイは現代社会でも生きる 第2章 アイヌの先祖はどこから来たか? アイヌ文化と縄文文化/東北のアイヌ 第3章 言葉は力 「名前」が持つ特別な力/争いは言葉で解決できる 第4章 物語は知恵と歴史の宝箱 困ったときの参考書 ウエベケレ 第5章 信仰と伝説の世界 すべてのものには魂がある/魔物たちの饗宴 第6章 「ゴールデンカムイ」のグルメワールド 第7章 「ゴールデンカムイ」名シーンの背景 第8章 アンリパたちの言葉 アイヌ語とは、アイヌ語と日本語の関係は？</p> <p>978-4-08-721072-9</p>
10	参考資料 中学 高校 一般	<h3>ゴールデンカムイ 絵から学ぶアイヌ文化</h3> <p>中川 裕/著</p> <p>集英社(集英社新書) 2024.2</p> <p>1,650円</p>		<p>冒険活劇漫画「ゴールデンカムイ」の勢いが止まらない。コミックスは累計二七〇〇万部を突破し、二〇二四年一月には実写版映画も公開された。同作がきっかけでアイヌ文化への興味を抱いたという方も多いはずだ。本書は「ゴールデンカムイ」のアイヌ語監修者である著者が、原作の絵をふんだんに引用しながら物語全体を読み解きつつ、アイヌ文化の解説を行った決定的入門書の完結編である。樺太アイヌや北方少数民族ニヴフとウイльта、そしてロシアなど、各分野の監修協力者によるコラムも充実。さらには原作者・野田サトル氏の取材裏話を記した特別附録も掲載。全ファン必読の一冊！</p> <p>978-4-08-721302-7</p>
11	参考資料 中学 高校 一般	<h3>エポエポアヤポ アイヌ文学読本</h3> <p>トッカーリ/著・イラスト 金沢 一彦/版画</p> <p>のんびり出版社海豹舎 2023.10</p> <p>1,650円</p>		<p>知里幸恵の真実の愛としびれるアイヌ文学21冊。</p> <p>ハルコロ(石坂啓+本多勝一+萱野茂) アイヌわが人生(貝澤正) アイヌの碑(萱野茂) コタン/遠星北斗歌集(遠星北斗) 祖父・小金井良精の記(星新一) 銀のしずく(知里幸恵) 北の人(金田一京助)</p> <p>シュマリ(手塚治虫) イタクシカムイ(山本多助) アイヌの霊の世界(藤村久和) エカシとフチを訪ねて(川上勇治) コタンの口笛(石森延男) 松浦武四郎(上川紀行/秋葉實)</p> <p>978-4-901336-42-0</p>
12	参考資料 中学 高校 一般	<h3>最新 アイヌ学がわかる</h3> <p>従来のアイヌ観を塗り替える試み</p> <p>佐々木史郎・北原モコットウナン/監修・著</p> <p>A&amp;F BOOKS 2024.10</p> <p>1,650円</p>		<p>文化人類学、マジョリティ/マイノリティ研究、社会学、言語学、口承文芸学などさまざまな専門研究分野の最新成果を凝縮した1冊。</p> <p>巻頭言 新しいアイヌ学へ 対談 いま、アイヌを語る意味 第1章 ダイジェスト「アイヌの歴史」 第2章 世界から見たアイヌ 第3章 もっと知りたいアイヌのこと 第4章 アイヌ研究の最前線からインタビュー 現在進行形のアイヌ文化</p> <p>978-4-909355-48-5</p>

13	参考資料 中学 高校 一般	<b>アイヌ民族と文化</b> 蝦夷地～北海道の歴史を歩く 日本人なら知っておきたい最北の歴史 濱口 裕介/監修 宝島社 2024.3 1,430円		<p>アイヌ民族がわかれば、北海道がわかる！ 極北の名もない大地が「北海道」に変わってゆくその道程はまた、アイヌの人々が生きた軌跡でもあります。いったい彼らはどこから来て、どんな道具を使い、何を信じ、どのような言葉を話したのか。現代につながるそのルーツを、ビジュアル満載でひも解く1冊です。</p> <p>「続」縄文文化からエミシの時代、東アジアとの交易、北海道戦国時代と松前藩、そして戦後へ…。「北海道やアイヌ民族に興味がある！」という初学者の方にはもちろん、北海道史・アイヌ民族史の学び直しにも役立つ保存版です。</p> <p>978-4-299-04936-0</p>
14	参考資料 中学 高校 一般	<b>静かな大地</b> 松浦武四郎とアイヌ民族 花崎 皋平/著 岩波書店(岩波現代文庫) 2008.2 1,452円		<p>幕末の蝦夷地を十数年間も探検・調査し、アイヌ民族の風俗・文化を記録する中で和人による虐待を告発した松浦武四郎。大地に根を張り、固有の習俗を育んできたアイヌ民衆の輝きとは何か。なぜ彼らは抑圧の下で呻吟することを強いられているのか。記録者としてアイヌ民族の受難に向き合うなかで、自己変革を遂げていく松浦を描き出す入魂の評伝。</p> <p>978-4-00-603163-3</p>
15	参考資料 中学 高校 一般	<b>図解 アイヌ</b> 角田 陽一/著 新紀元社 2018.7 1,496円		<p>図解でわかる！アイヌの生活や歴史。</p> <p>第1章 アイヌの世界 第2章 アイヌの神と怪 第3章 アイヌと動植物 第4章 アイヌの生活 第5章 アイヌの社会 第6章 アイヌの歴史</p> <p>978-4-7753-1513-2</p>
16	参考資料 中学 高校 一般	<b>1時間でわかる アイヌの文化と歴史</b> 瀬川拓郎/監修 宝島社(宝島社新書) 2019.6 1,320円 注文不可		<p>神(カムイ)である自然と共生する文化。貴重なビジュアル満載！ 日本文化のルーツがわかる、あなたの知らないアイヌ！イラスト・写真130点。</p> <p>第1章 アイヌの信仰世界 第5章 アイヌの文化 第2章 アイヌと自然 第6章 アイヌと縄文人 第3章 アイヌの生活 第7章 アイヌの歴史 第4章 アイヌの美</p> <p>978-4-8002-9382-4</p>
17	参考資料 中学 高校 一般	<b>知れば知るほど面白い アイヌの文化と歴史</b> 瀬川拓郎/監修 宝島社(宝島社文庫) 2024.1 990円 注文不可		<p>私たちはアイヌを狩猟採集民だと考えがちである。それは基本的には間違っていないが、アイヌのなかには広大な畑を耕し牧場で馬を飼う者たちや、鉄製品を製作する鍛冶屋などもあった。そして、東北部で和人間の戦いに傭兵として参戦したり、舟で移動しながら東北沿岸の和人の集落を襲ったりした者たちもいた。さらに、アイヌは狩猟採集したものを交易に使い、サハリンと本州を結ぶ役目もしていた。本書では、アイヌの人々の本当の姿を文化と歴史から解説する。</p> <p>978-4-299-05083-0</p>
18	参考資料 中学 高校 一般	<b>いま学ぶ アイヌ民族の歴史</b> 加藤博文/編 若園雄志郎/編 山川出版社 2018 2,200円		<p>北海道島とアイヌ民族の歴史を高校での日本史の枠組みを基礎において、通史的に概観するテキスト。</p> <p>第1部 アイヌ形成に至る歴史 第2部 北海道島におけるアイヌの形成 第3部 近世国家とアイヌ 第4部 近代国家の成立とアイヌ民族支配 第5部 大正・昭和初期の日本とアイヌ民族 第6部 戦後民主国家の成立とアイヌ民族</p> <p>978-4-634-59103-5</p>
19	参考資料 中学 高校 一般	<b>先住民アイヌは どんな歴史を 歩んできたか</b> 坂田美奈子/著 清水書院 2018 1,100円		<p>はじめに あなたの身近にアイヌはいますか？</p> <p>1 北海道はいつから日本領になったのだろうか (江戸幕府は蝦夷地をどう見ていたか、蝦夷地の「幕領化」とは何か、蝦夷地でのアイヌと和人の関係はどんなものだったのか)</p> <p>2 近代の日本はアイヌにどんな政策をとったのだろうか (幕末に起きた変化とは？:第二次幕領期、アイヌ・モシリはどこへ…:明治政府の政策、アイヌを日本国民にするとはどういうこと？、移転・集住化政策は何をもたらしたのか、この土地はだれのもの？、狩りも漁りも不自由に:生活はどのように変わったか、旧土人保護法の何が問題か)</p> <p>3 アイヌ自身による近代化 (同化か、文化変容か、アイヌは自分たちの歴史をどう見たのか、アイヌは「言葉」にどう向き合ったか、血統とアイヌ:民族とは何だろうか？、アイヌ・アイデンティティの発明)</p> <p>978-4-389-50088-7</p>

20	参考資料 中学 高校 一般	<p><b>先住民族アイヌを学ぶ</b> 藤戸ひろ子さんに聞いてみた</p> <p>藤戸ひろ子、石川康宏、建石始、大澤香/共著</p> <p>日本機関紙出版センター 2022.8</p> <p>1,650円</p>		<p>アイヌとは？ アイヌ民族の一人、藤戸ひろ子さんの語りを通して学ぶ。互い違いの歴史／信仰と唄と踊りと紋様／手仕事と食文化と交易／私自身のアイヌ——神戸女学院大学の授業をオールカラーで紙上再現、人や社会の多様性をありのままに知る。【平井美津子氏(大阪公立中学校教諭) 推薦!!】自然と共生し豊かな暮らしや文化を育んできたアイヌ。一人のアイヌの生活史から、私たちが知ることもなかった人や社会の多様性が見えてくる。</p> <p>第1部 今を生きるアイヌ民族を学ぶ授業 (和人との関係でみるアイヌの歴史、「共生」の視点に学ぶ、アイヌの言語、みなさんからお話)</p> <p>第2部 藤戸ひろ子さんに聞く (アイヌのゆたかな文化を伝えたい—藤戸ひろ子さんの授業の内容、「座談会」藤戸ひろ子さんを囲んで)</p> <p>978-4-88900-273-7</p>
21	参考資料 中学 高校 一般	<p><b>先住民族アイヌを学ぶⅡ</b> 北海道に行ってみた</p> <p>石川康宏、建石始、大澤香/共編</p> <p>日本機関紙出版センター 2023.9</p> <p>1,650円</p>		<p>神戸女学院大学の学生たちがアイヌを学びに北海道へ。萱野茂二風谷アイヌ博物館、平取町立二風谷アイヌ文化博物館、国立アイヌ民族博物館・ウポポイ(民族共生象徴空間)、知里幸恵 銀のしずく記念館とアイヌの口承文芸、歴史と文化、遺骨問題、そしてアイヌの言葉など様々な姿に触れてきた。</p> <p>漫画『ゴールデンカムイ』のアイヌ語監修者中川裕氏の特別講演「アイヌの世界観とアイヌ文化の現在」も収録。巻頭カラーグラビア付き、アイヌの今を学ぶ最新テキスト！</p> <p>978-4-88900-284-3</p>
22	参考資料 中学 高校 一般	<p><b>先住民族アイヌを学ぶⅢ</b> アイヌ語を話してみよう</p> <p>大澤香、瀧口タ美、石川康宏/著</p> <p>日本機関紙出版センター 2024.12</p> <p>1,540円</p>		<p>関西圏の大学で初めてのアイヌ語講座が本になりました！ 神戸女学院大学のプロジェクト科目「先住民族アイヌを学ぶ」で、アイヌとアイヌ文化についてのフィールドワークを通じた学びは、いよいよアイヌ語の学びへと進化しました。国文学者の藤井貞和氏はアイヌ語について「もし日本国憲法に公用語の規程があるなら、第二公用語が準公用語かという認定になろう、その文化をきちんと講義する講座や、言語的プログラムの整備こそが先決事項だ」と述べています。北原モコトウナシ氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター)の講演「アイヌ文化と人をつなぐ～進化形アイヌ文化事業」も収録。</p> <p>第1部 なぜ今、アイヌ語なのか (たがいの考えを知る授業、先住民族アイヌの歴史—先住権の保障に向けてととも学ぶ“すま”から“新しい語り”を模索する)</p> <p>第2部 アイヌ文化とアイヌ語 (アイヌ文化と人をつなぐ—進化形アイヌ文化事業、“対談”神戸女学院大学で始まる「アイヌ語」授業によせて)</p> <p>第3部 アイヌ語入門(アイヌ語を話してみよう)</p> <p>978-4-88900-334-5</p>
23	参考資料 中学 高校 一般	<p><b>イランカラプテ</b> アイヌ民族を知っていますか？ 先住権・文化継承・差別の問題</p> <p>秋辺 日出男 他7名/著 アイヌ民族に関する人権教育の会/監修</p> <p>明石書店 2017.5</p> <p>2,200円</p>		<p>アイヌ民族の代表者8人が先住権、歴史認識、文化伝承、民族差別などの問題について自身の体験から語る講演集。先住 民族の権利を尊重し、その豊かな文化を継承して多文化共生社会を築いていくため、日本の教育に何が求められるのかを訴える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アイヌ民族にかかわる先住権と教育について</li> <li>2 北海道の教職員に望むこと</li> <li>3 アイヌ民族として学校教育に期待すること—末広小学校での実践を通して</li> <li>4 アイヌ文化について</li> <li>5 アイヌ民族の今</li> <li>6 今こそ、「アイヌ民族の学習」をすすめよう</li> <li>7 アイヌとして生きて、アイヌ文化を伝承すること</li> <li>8 私の歩んできた道—ひとりのアイヌ女性として</li> </ol> <p>978-4-7503-4519-2</p>
24	参考資料 中学 高校 一般	<p><b>アイヌと縄文</b> もう一つの日本の歴史</p> <p>瀬川 拓郎/著</p> <p>筑摩書房(ちくま新書) 2016.2</p> <p>946円</p>		<p>アイヌこそが縄文人の正統な末裔であることが、最近のさまざまな研究や調査で明らかになっている。平地人となることを拒否し、北海道という山中にとどまって縄文の習俗を最後まで守り通したアイヌの人びと、その文化を見ていけば、日本列島人の原郷の思想が明らかになるにちがいない。交易、祭祀、葬制、遺跡とその遺物、言語などの多方面にわたる最新のアイヌ 研究を総合し、弥生文化を選択した現代日本人にとって、ありえたかもしれないもうひとつの歴史を叙述する野心的試み。</p> <p>第1章 アイヌの原郷—縄文時代(アイヌと縄文文化、アイヌと縄文人、アイヌと縄文語)</p> <p>第2章 流動化する世界—統縄文時代(弥生・古墳時代)(弥生文化の北上と揺れ動く社会、古墳社会との交流、オホーツク 人の侵入と王権の介入)</p> <p>第3章 商品化する世界—擦文時代(奈良・平安時代)(本州からの移民、交易民としての成長、同化されるオホーツク人)</p> <p>第4章 グローバル化する世界—ニブタニ時代(鎌倉時代以降)(多様化するアイヌの世界チャンをめぐる日本と大陸、ミイラと 儒教)</p> <p>第5章 アイヌの縄文思想(なぜ中立地帯なのか？なぜ聖域で獣を解体するのか)</p> <p>978-4-480-06873-6</p>
25	参考資料 中学 高校 一般	<p><b>クマにあったらどうするか</b> アイヌ民族最後の狩人 姉崎 等</p> <p>姉崎 等・片山龍峯/著</p> <p>筑摩書房(ちくま文庫) 2014</p> <p>924円</p>		<p>クマと遭遇したとき、人間は生き延びるために何をすればいいのか。死んだふり、木に登る、リュックを置いて逃げるといった、巷に流れる俗説は有効なのか？「クマは師匠」と言うアイヌ民族最後の狩人が、アイヌの知恵と自身の経験から導き出した、超実践的クマ対処法を伝授。クマの本当の姿を知ることで、人間とクマの目指すべき共存の形が見えてくる。</p> <p>第1章 こうしてクマ撃ちになった</p> <p>第2章 狩人の知恵、クマの知恵</p> <p>第3章 本当のクマの姿</p> <p>第4章 アイヌ民族とクマ</p> <p>第5章 クマにあったらどうするか</p> <p>第6章 クマは人を見てタマげてる</p> <p>第7章 クマと共存するために</p> <p>第8章 クマの生きている意味</p> <p>978-4-480-43148-6</p>

26	参考資料 中学 高校 一般	<b>アイヌ 100人のいま</b> 宇井 真紀子/著 冬青社 2017.5 4,074円		全国各地でそれぞれの暮らしを続けるアイヌの人々。今を生きる人々の表情と今伝えたい人ことだけをまとめた一冊。 アイヌ文化、と聞くと思い描く内容がいくつかあるかと思いますが、今を生きる人々には多様な生活があること、またアイヌの人々の短さを感じることで一冊です。(石狩司担研：MO) 978-4-88773-180-6
27	参考資料 中学 高校 一般	<b>ラストアイヌ</b> 反骨のアイヌ詩人 森竹竹市の肖像 川島 康男/著 柏艸舎 2020.3 1,650円		自らを和人に虐げられ、民族の誇りをなくした“最後のアイヌ”と呼ぶ、誇り高き反骨のアイヌ歌人、森竹竹市。アイヌ民族にとって、明治以降およそ百年の歴史はつねに、屈辱にまみれたものだった。しかしアイヌ三大歌人の一人と目される森竹の、その鋭い眼差しの中には、つねに未来があった。 序章 語るに落ちる 第1章 少年の肩 第2章 鉄道員 第3章 若きウタリに 第4章 『原始林』 第5章 アイヌを生きる 第6章 シラコラチー風のように 終章 「ラストアイヌ」の矜持 978-4-434-27148-9
28	参考資料 中学 高校 一般	<b>カムイの世界</b> 語り継がれるアイヌの心 堀内 みさ/著 堀内 昭彦/撮影 新潮社 2020.3 2,200円		文字文化を持たなかったアイヌが、代々語り継いできた精神と伝統を、数年にわたるアイヌの人々との心の交流を経て、現代の語り部たちの「言葉」を丁寧に聞き取り、守り継がれてきた儀式や祭祀、聖地、そしてカムイが宿る北海道の壮大な風景を写真で紹介。今に生きるアイヌの魂を探る旅。 カムイー神 カムイノミー祈り コタン集落 シンヌラッパ―先祖供養 アシリチエブノミーサケ迎え チブサンケー舟下ろし ユカラ―叙事詩 チャランケー談判 ケウタンケー無念の声 アイヌ―人間 978-4-10-602292-0
29	参考資料 中学 高校 一般	<b>アイヌと神々の物語</b> 炉端で聞いたウウエペケレ 萱野 茂/著 山と溪谷社(ヤマケイ文庫) 2020.4 1,210円		●北海道教職員組合「アイヌ民族に関する絵本・コミック紹介コーナー」すいせん 著者が祖母や村のフチから聞き集めたアイヌと神々の38の物語が読みやすく情感豊かな文章で綴られる。すべての話にわかりやすい解説が添えられ、アイヌの文化や習俗、世界観をたっぷり味わえる一冊。 アイヌ文学名著の文庫化 978-4-635-04878-1
30	参考資料 中学 高校 一般	<b>アイヌと神々の謡</b> カムイユカラと子守歌 萱野 茂/著 山と溪谷社(ヤマケイ文庫) 2020.9 1,210円		●北海道教職員組合「アイヌ民族に関する絵本・コミック紹介コーナー」すいせん 「カッコウ鳥とボンオキルミ」「ホテルの婿選び」「ムジナとクマ」「大空に描いたコタン」「怪鳥フリと白ギツネ」「マムシが人助け」「火の女神と水の女神のけんか」。著者が祖母や村のフチから聞き集めた13のカムイユカラと子守歌を、日本語訳とアイヌ語を併記して紹介。不思議な物語は、歌うようなアイヌ語と照らし合わせて読むとより味わい深い。 文庫化にあたり「ゴールデンカムイ」アイヌ語監修を務める中川裕氏による寄稿を収録。 978-4-635-04890-3
31	参考資料 中学 高校 一般	<b>アイヌの神々の物語</b> 四宅ヤエ唄伝承 四宅 ヤエ/供述 藤村 久和、若月 亨/訳・註 藤村 久和、合沢 寛/編集 釧路アイヌ語の会/編 藤田印刷エクセレントブックス 2018.6 1,320円		●北海道教職員組合「アイヌ民族に関する絵本・コミック紹介コーナー」すいせん ヤエ唄が聞かせてくれた15のユーカーラ----- 四宅ヤエ唄伝承『アイヌの神々の物語』は、1993年2月から1998年8月までの間に小学館の季刊雑誌『創造の世界』に15回に渡って連載された。訳と解説・註・解題は藤村久和・若月亨二氏による。四宅ヤエ唄からの採録は一部を除き1971年~1972年に主に藤村久和先生によって行われている。本書は上記を集成したものである。(「まえがき」より抜粋) 978-4-86538-076-7
32	参考資料 中学 高校 一般	<b>父からの伝言</b> 増頁版 ムックリ演奏CD付属 鈴木 紀美代/著 藤田印刷エクセレントブックス 2024.3 1,980円		2007年12月に友人の青地久恵さん、藤田民子さんのご協力を戴きまして『父からの伝言』をまとめてから丸16年が経過しました。お蔭さまで当時の在庫が殆どなくなるまでに至りまして、此の間、多くの激励やご評価を頂戴して参りました。また「掛川源一郎写真委員会」様からのご許可ご協力を頂戴しまして写真掲載が出来ましたことも幸甚でした。改めまして御禮と感謝を申し上げます。2007年、2019年に引き続きまして、此の度、新ひだか町三石の幌村建設幌村司様のご支援を頂戴し『父からの伝言』3度目の増頁版刊行をみる事が叶いました。私の生き甲斐でもあるムックリ演奏CDを付帯したのは、アイヌ民族の文化伝承である民族音楽を歴史に残したい一念からです。また釧路市立博物館でも大人気のムックリ製作工程の画像は、二次元バーコードを付帯しまして、ユーチューブ(YouTube)で、見ることが出来るようにしました。本書がアイヌ民族理解の一助になることを願っています。 イヤイライケレ(iyayraykere)。本書「あとがき」より 978-4-86538-165-8

33	参考資料 中学 高校 一般	<p><b>アイヌ・暮らしの民具</b> Okikurumi kamuy</p> <p>萱野 茂/文 清水 武男/写真</p> <p>クレオ 2005.7</p> <p>1,980円</p> <p>※書影の使用許諾:申請中</p>		<p>韜か遠い昔のこと、二風谷を流れる沙流川の畔にひとりの神が降臨し、道具の作り方や、その道具を使つての漁や狩り、さらには耕作の仕方などという、アイヌに生活や文化を教えてくださいました。オキクルミカムイ…北の大地で生まれた暮らしの民具は、このひとりの神から授けられ、伝えられてきた、アイヌ民族の生きた証なのです。</p> <p>序章 「イコロ・オ・ブとの出会い」 第1章 「衣」—独特の美しいアイヌ模様は、魔よけなどの意味を持つ。 第2章 「食」—自然の恵みに感謝しながら、山野を駆け、川や海から豊かな食生活を得る。 第3章 「住」—木や萱でチセという家を建てて村を形成し、アイヌコタンと呼ばれる。 第4章 「祈」—神々の護りに感謝し、人々の安定した平和な暮らしを願ひ神に捧げる…カムイノミ。 「遊」—楽しみも神とともに… 終章 「ウウエベケレ昔話の世界」</p> <p>978-4-87736-110-5</p>
34	参考資料 中学 高校 一般	<p><b>アイヌの民具</b> アイヌの民具刊行運動委員会編</p> <p>萱野 茂/[著]</p> <p>すずさわ書店 1980</p> <p>11,000円</p>		<p>教材資料として、とても優れている貴重な資料。 高価なので公共図書館から借りて活用することをおすすめする。</p> <p>和人が移住する以前の道具からものによっては今でも日常用いられている生活用具309種類と、16種の施設、そしてそれらの材料百数十種と26の食品をのせました。ご覧いただき、アイヌ民族の昔の生活ぶり、自然との対話の心をご理解ねがえれば幸いです。(萱野茂はじめに より)</p> <p>978-4-7954-0401-4</p>
35	参考資料 中学 高校 一般	<p><b>アイヌをもっと知る図鑑</b> 歴史を知り、未来へつなぐ</p> <p>別冊太陽 編集部/編</p> <p>平凡社 2020.4</p> <p>2,860円</p>		<p>北海道に先住してきたアイヌ民族の歴史を古代から現代までとり、考古学・歴史学・民俗学・文芸史・生活史・芸術など多面的に、第一線の研究者の解説と豊富な資料で紹介する。</p> <p>「別冊 太陽」日本のこころ 280</p> <p>978-4-582-92280-6</p>